

2025年7月25日（金）

報道関係者 各位

産（株式会社結島と土田酒造株式会社）・学（群馬大学）連携で日本酒を開発
群馬大学が開発した土壌改良材を使用して吉岡町で生産された美味しいお米を使用した「日本酒 緒結」の販売を開始



「日本酒 緒結」概要

吉岡町から出る天然由来廃棄物を利用した群馬大学開発の土壌改良材を使用、地産地消の循環型農業として、美味しいお米を株式会社結島が生産。

そのお米を使用して、美味しい水と伝統的な生酛造りで原料づくりからボトリング・保管までこだわり尽くした至高の1本を土田酒造株式会社が作り上げました。

本件のポイント

- ・コメのカドミウム濃度を下げる効果が確認されている群馬大学開発土壌改良材（GUDアグリ）を散布した水田で採れたお米を使用して、今回全国で初めて日本酒を製造
- ・GUDアグリは吉岡町で排出された食品廃棄物を原料に製造されたものを用い、吉岡町の水田に散布してコメを栽培した、循環型農業のモデルとなる。
- ・株式会社結島は群馬大学卒業生が立ち上げた会社で、GUDアグリを使った商品開発等を行っているベンチャー企業

◎本件に関する問合せ先
群馬大学

副学長（ヘルスプロモーション担当）板橋 英之

TEL:0277-30-1272

E-MAIL : itabashi@gunma-u. ac. jp

桐生地区事務部事務課庶務係長 小林 宜徳

TEL:0277-30-1015

E-MAIL : rikou-pr@ml. gunma-u. ac. jp

土田酒造株式会社

事業管理部 部長 村上 雅人

TEL: 0278-52-3511(酒造事務所)

E-MAIL : masato. m@tsuchidasake. jp

株式会社結島

(ゆいしま)

代表取締役 平形 和志

TEL : 080-4410-2577

E-MAIL : hirakata@yuishima. co. jp

緒結ーおむすびー



原料米

群馬県吉岡町産コシヒカリ100%使用

群馬大学と群馬大学発ベンチャー
(株)グッドアイが開発した土壌改良材
「GUDアグリ」を
吉岡町の商品廃棄物で製造・施肥

製法・特徴

- ・江戸時代から続く「生酀造り」
- ・酵母無添加（野生酵母）
- ・表示義務のない添加物も不使用
原料米と白麹、黄麹、水のみ使用
- ・純米酒
- ・精米歩合 94%
- ・アルコール分 11%（原酒）



お酒は20歳になってから。

地産地消の循環型農業の推進

緒結の酒粕を肥料にしたお米で本年度も日本酒製造予定
→クラウドファンディング実施中

緒結ーおむすびー

緒結ーおむすびー

始まりを意味する「緒」と、
繋がりを意味する「結」は、
出会いや語らいの場に寄り添い、
心をつなぐ存在でありたい
という想いから名付けました。

人と人を、言葉と気持ちを、
うまく言葉にできない想いさえも
結びつけてくれる。

そんな「あたたかさ」を、
この一本に込めました。



こだわりの

一、こだわりの原料米栽培

群馬大学発ベンチャー

(株)グッドアイが開発した、

GUDアグリを使用しました。

この肥料は吉岡町から出る

天然由来原料を使用したもので、

土壌中重金属のお米への吸収を

抑制する働きがあります。

これにより、より安全安心な

お米の栽培が実現しました。

二、変態的な生酛作り

酵母無添加

その他、表示義務のない添加物さえ

使用せず、原料米と麹菌のみによる

生酛づくりで製造しました。

また、

甘酒四段仕込製法を用いて、

原酒でアルコール分11%、

「濃い旨み」「香り」「飲みやすさ」

を実現しました。

緒結が出来るまで

精米（精米歩合94%）

← 洗米

← 蒸米（もろみ・麴米）

← 初添（一段）

← 仲添（二段）

← 留添（三段）

← 甘酒添（四段）

← 濾過・火入れ

← 瓶詰め

精米歩合が高いことから、
アルコール発酵速度が速く
旨みや甘みを出しながらの
低アルコール調整が難しい中、
試行錯誤の末たどり着いた逸品です。



お酒は二〇歳になってから。

緒結

「おむすび」に込めた願い

始まりを意味する「緒」と、
繋がり意味する「結」は、

出会いや語らいの場に寄り添い、
「心を結ぶ存在でありたい」
という想いから名付けました。



縁から繋がりへ

点と点が線に、線と線が面に

円（縁）卓が二つ並んでいる様子と、
点と点が繋がるイメージを
表現しました。

緒結を中心に、あえて余白を残し、
その場を囲む皆様が余白を埋める、
そんな願いを表現しました。



繋がりが無限の可能性を引き出す

青銅比（1:3:303）を用いてバランス
を整えました。

3を連続して上下に使用することで、
3とεが組み合わせり、∞を連想し
たことから、緒結が無限の可能性を引
き出してくれたら嬉しいと考えていま
す。

また、縁が繋がり無限の可能性を引き
出せるように、縁と縁が繋がるイメー
ジも表現しています。

